

今後の需要

UP
↑

オシゴト人気NO.1はコレだ!

読者人気投票BEST20

- 1位 介護福祉士…39人
- 2位 ワインコーディネーター…36人
- 3位 アロマコーディネーター…28人
- 4位 パティシエ…25人
- 5位 漫画家…20人
- 6位 ジュエリーデザイナー…17人
- 7位 ライター…15人
- 8位 グルーマー…12人
- 9位 カメラマン…11人
- 10位 ビデオジャーナリスト…10人
- 11位 日本語教師…8人
- 12位 スタイリスト…7人
- 13位 コピーライター…6人
- 14位 プロモーター…5人
- 15位 ピアノ調律師…4人
- 16位 翻訳家…3人
- 16位 シューフィッター…3人
- 18位 ホームページ制作者…2人
- 18位 占い師…2人
- 20位 ネイルアーティスト…1人

※本誌読者113人のW・Wに“興味ある・気になるオシゴトは何?”というアンケートを実施。その結果をもとにランキングを作成しました。(複数回答)



（なるにはレポート）

はじめの一歩として福祉の現場を知ることが重要。老人ホームの慰問など、ボランティア活動してみよう。介護福祉士の受験資格は3年以上の実務経験を積むと得られるが、養成機関に通って資格を取得するほうが確実。高齢化社会を迎え、ニーズは急増するだろう。

1位

介護福祉士

お年寄りの姿を通じて
生きる意味を教わりました

めぐみ園
中嶋幸恵さん

介護福祉士になって5年目の中嶋さんは、もともと福祉に興味があり、お年寄りも好きだったことからこの仕事を選んだ。

「ここでは寝たきりや痴呆のお年寄りの生活全般を援助していますが、なかには表情のない方もいるんですね。でも、日々接して信頼関係が生まれると、目の動きだけでも心が通じ合うことがある。そういう瞬間に感じる人と人とのつながりは、この仕事でしか味わえない充実感です」

とはいえ、日々の業務はハードだ。おむつ交換や入浴介助などの力作業が多いうえ、お年寄りの精神的なケア、さらには家族との対応もこなさなければならぬ。しかも、心づくしのケアをしても、終末介護の場ゆえに、元気になって退所するといった結果がでない仕事でもある。

「でも、人の命が消える瞬間に立ち会えると、生きることを考えさせられるんです。だから介護をしながら、私の方がお年寄りから人生について教わっていると思います」

気になる仕事まるかじり!

大発表!

読者が選んだ 人気オシゴト

BEST20

日頃から「私の適職は何かしら?」と考えているサリダ読者に「興味あるオシゴト」を聞いて、BEST20をここに発表! それをもとに気になる“お仕事内容”や“アプローチ法”“やりがい”などを総力取材。この中にあなたの天職があるかもよ!



今後の需要
UP
↑

2位

ワインコーディネーター

ワインをキーワードに 新しい世界にチャレンジ!

フリーランス
友田晶子さん

今やマスコミ各社からひっぱりだこの友田さんは、ワインや食品に関する知識を持ち、消費者のニーズに適切な助言を行うワインコーディネーター。その仕事の幅は広い。セミナーやスクールなどの講師に始まり、新聞・雑誌、単行本の執筆、レ

ストラランや酒販店などへのコンサルティング、ワイン周りの小物の物販、さらにはワインバーの経営と、まさに八面六臂の活躍ぶり。「実家がレストランを経営していた影響もあって、飲食関連の仕事に興味があり、ワインスクールに通ったのが12年ほど前のこと。当時はまだワインのことを教えられる人が少な

かったので、そのまま請われて講師になったのがこの仕事についてたきっかけです。その後は、依頼のあった仕事を片っ端から引き受けていたら、こんな状態になっちゃって(笑)。でもワインをキーワードにいろいろな人に会えるし、ステップアップするたびに新しい世界が開けるのでやりがい十分です!」

(なるにはレポート)

料理やお酒が好きなら、消費者のニーズを客観的に判断する力が必要だ。ワインに関する知識やテイasting能力はスクールに通うのが早道。資格認定試験もある。ワインコーディネーターのアシスタントや飲食業界などに勤めて経験を積み、人脈を広げよう。

3位

アロマコーディネーター

アロマのよさを一人でも多くの人に広めたい

ソワンドボーテ・エトワルボレール
北原正江さん

「最初は、アロマセラピーってどんなものだろう、というぐらいの軽い気持ちでスクールに通い始めました。んですよ。ところが、学ばば学ぶほど心と体の両方を癒すアロマセラピーのよさに惹かれてしまっ。それで一生の仕事としてやっていく決心を固めたんです」

こう語るのには、日本アロマコーディネーター協会及び英国ITTEC認定アロマセラピストの北原さん。「仕事は正直言ってハードですけれど、充実感があります。サロンにいらっしゃるお客様はO.Lさんが中心ですが、皆さん通われるうちに心身がリフレッシュされていくんですよ」

今後の需要
UP
↑



(なるにはレポート)

趣味でもアロマに興味があることが前提。理論や知識はスクールで身につけよう。アロマコーディネーターの活躍の場は医療、美容、スポーツ、福祉など多岐に渡る。自分がどの分野で活躍したいのか考えた上で実力を養おう。将来は独立や執筆活動といった道も。

うね、輝いてくるんですよ」

施術前にはカウンセリングし、症状にあわせた香りをブレンドしてマツサージを行うのだが、精油にはそれぞれの性質があり、その人の体質に合ったものを使わないとかえって体に害を及ぼすこともある。それだけの責任を負っているだけに、やりがいもまた大きいのだろう。